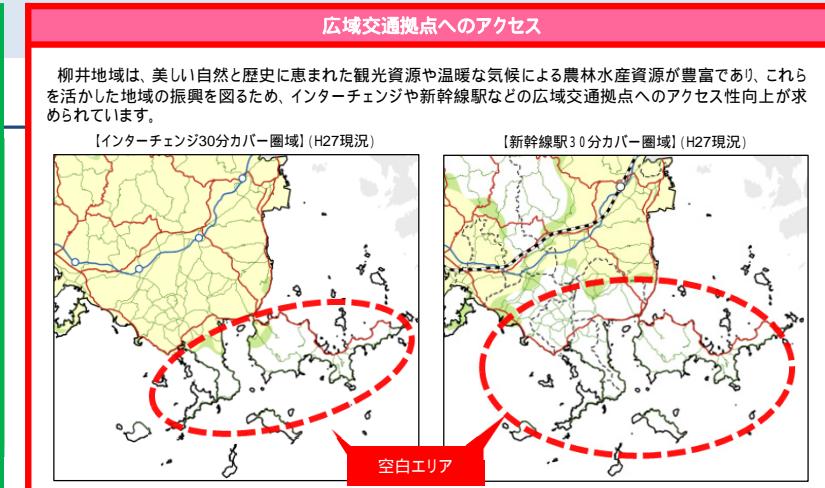
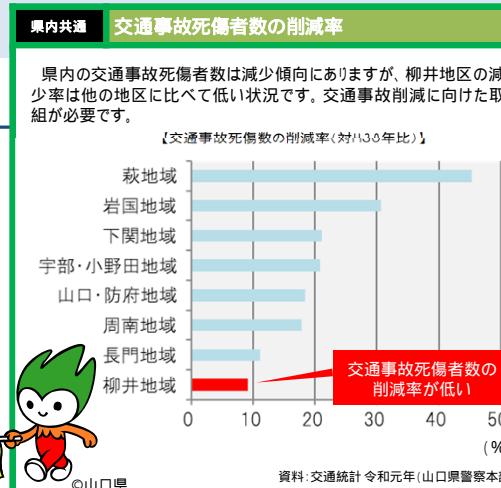
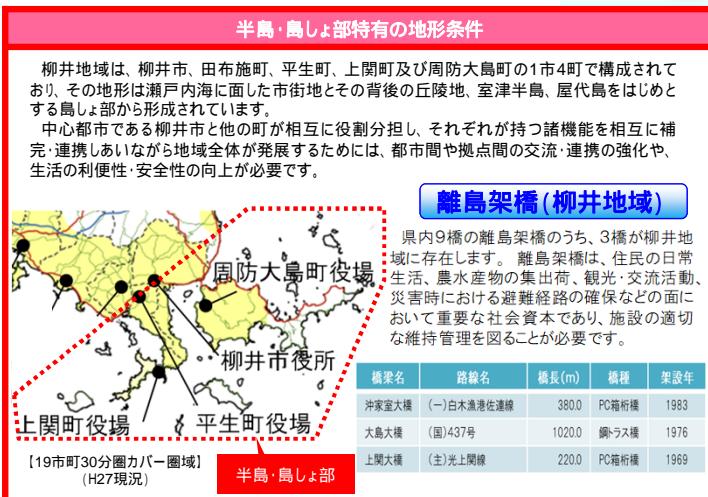
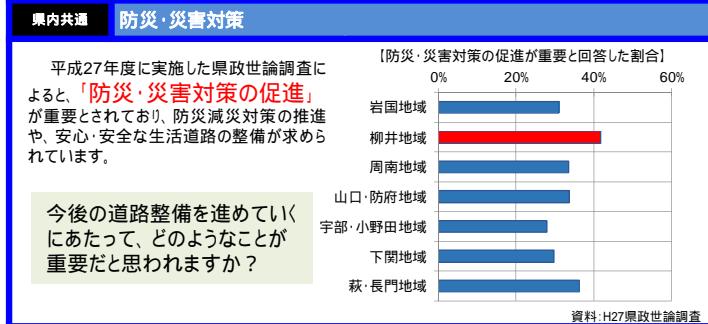


2 主な整備箇所(地域版)

2 柳井地域のみちづくりに関する現状と課題

- ・半島や離島、中山間地域で構成される1市4町間の道路整備による**交流・連携の強化**
- ・広域交通拠点へのアクセス強化による**観光客の利便性の向上**
- ・歩道の整備等による**交通安全対策の推進**
- ・バイパス整備等による**緊急車両の迅速かつ円滑な通行の確保**
- ・緊急輸送道路等の**橋梁の耐震補強**
- ・離島架橋をはじめとした**道路施設の計画的・効率的な修繕・更新等**



2 主な整備箇所(地域版)

2 柳井地域のみちづくり

整備が求められる主な路線

産業・地域を「支える」

○観光客の利便性の向上	2-a 県道柳井玖珂線
○交流・連携の強化	2-b 県道白木山線

等

人々のいのちを「守る」

○生活道路等における交通安全対策の推進	2-c 県道光柳井線
○緊急車両の迅速かつ円滑な通行の確保	2-d 県道光上関線

等

災害に「備える」

○広域道路ネットワークの構築や安心・安全な生活道路の整備	県道大島環状線
防災・減災対策の推進	国道437号

等

未来に「つなぐ」

○老朽化した道路施設の計画的・効率的な修繕・更新等	国道437号
日常的な維持管理の充実・効率化	県道柳井周東線

等

- バイパス
- 現道拡幅
- 自歩道整備
- 歩道整備
- 交差点改良
- のり面対策
- 耐震化
- 無電柱化
- 長寿命化
- SIC スマートインターチェンジ

- 道の駅
- 市役所等



主な整備中箇所

No.	路線名 (工区名等)	内容	道路整備 目標	4つの方針			
				支 え る	守 る	備 え る	つ な ぐ
2-1	国道188号 (柳井・平生バイパス)	バイパス	事業継続				
2-2	国道437号 (久賀拡幅)	現道拡幅	完成 (R3)				
2-3	県道大島環状線 (古城)	バイパス	完成 (R3)				
2-4	県道大島環状線 (西安下庄)	バイパス	事業継続				
2-5	県道光上間線 (瀬戸)	バイパス	事業継続				
2-6	県道光上間線 (室津)	バイパス	事業継続				
2-7	県道柳東線 (地家室)	バイパス	完成 (R3)				
2-8	県道柳井上間線 (伊保庄)	バイパス	部分完成 (R3)				
2-9	県道東浦西浦線 (黒鼻～赤崎)	現道拡幅	事業継続				
2-10	県道大島環状線 (小松)	自歩道整備	事業継続				
2-11	県道光柳井線 (麻郷奥松本)	歩道整備	事業継続				
2-12	県道光柳井線 (波野～余田)	自歩道整備	完成 (R7)				
2-13	県道別府田布施停車場線 (下田布施)	自歩道整備	完成 (R5)				
2-14	県道平生港田布施線 (麻郷)	自歩道整備	完成 (R5)				
2-15	都計道八和田井手線 県道光柳井線 (波野～下田布施)	自歩道整備	完成 (R3)				
2-16	県道大島環状線 (小松開作～西安下庄)	のり面対策	事業継続				
2-17	県道白木漁港佐連線 (沖家室大橋)	耐震化	事業継続				
2-18	国道437号 (大島大橋)	長寿命化	事業継続				
2-19	県道柳井周東線 (瑞穂橋)	長寿命化	事業継続				
2-20	県道光上間線 (上間大橋)	長寿命化	事業継続				
2-21	県道柳東線 (地家室2)	バイパス	事業継続				
2-22	県道白木山線 (西方)	現道拡幅	事業継続				
2-23	県道光柳井線 (麻郷奥松本)	歩道整備	事業継続				
2-24	都計道八和田井手線 県道光上間線 (下田布施)	自歩道整備	事業継続				
2-25	国道437号 (宗光)	歩道整備	事業継続				
2-26	県道光柳井線 (波野)	自歩道整備	事業継続				
2-27	県道柳井玖珂線 (北町)	交差点改良	事業継続				

ここで示す「道路整備目標」は、予算の確保、用地取得等が予定通りに進捗した場合の現時点における目標を示したものです。

2 主な整備箇所(地域版)

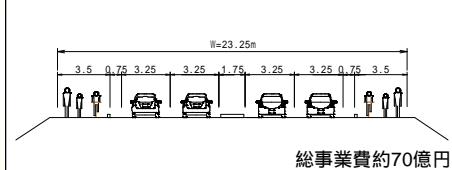
2 柳井地域の主要な整備箇所

2-1 188 国道188号(柳井・平生バイパス)

概要

内 容	バイパス
延 長	$L = 2.2 \text{ km}$
幅 員	$W = 23.25 \text{ m}$
着 手 年 度	令和2年度

【標準断面図】



目的(効果)

- ◆ 現道の渋滞緩和や交通事故の減少を図ります。
- ◆ 地域の産業支援のため、物流の円滑化を図ります。
- ◆ 災害時における代替路が確保し、信頼性の高いネットワークを構築します。

支える 守る 備える つなぐ

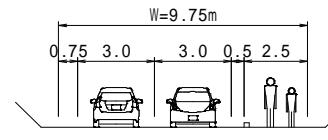


2-3 4 県道大島環状線(古城)

概要

内 容	バイパス
延 長	$L = 0.3 \text{ km}$
幅 員	$W = 9.75 \text{ m}$
着 手 年 度	平成26年度

【標準断面図】



R3
完成



目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 歩行者の通行の安全を確保します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。

2-2 437 国道437号(久賀拡幅)

概要

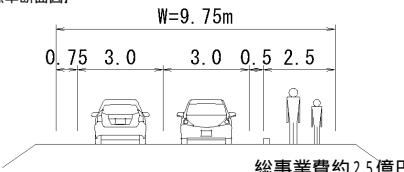
内 容	現道拡幅
延 長	$L = 0.9 \text{ km}$
幅 員	$W = 15.0 \text{ m}$
着 手 年 度	平成8年度

R3
完成

概要

内 容	バイパス
延 長	$L = 1.98 \text{ km}$
幅 員	$W = 9.75 \text{ m}$
着 手 年 度	平成29年度

【標準断面図】



総事業費約40億円

目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く大型車のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。

支える 守る 備える つなぐ

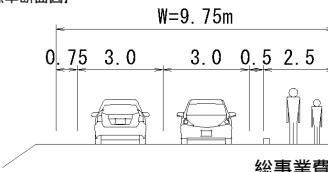


2-4 4 県道大島環状線(西安下庄)

概要

内 容	バイパス
延 長	$L = 1.98 \text{ km}$
幅 員	$W = 9.75 \text{ m}$
着 手 年 度	平成29年度

【標準断面図】



総事業費約25億円



目的(効果)

- ◆ 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。

2 主な整備箇所(地域版)

2 柳井地域の主要な整備箇所

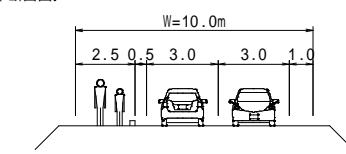
2-5 23 県道光上関線(瀬戸)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	バイパス
延 長	L = 1.18 km
幅 員	W = 10.0 m
着 手 年 度	平成24年度

[標準断面図]



目的(効果)

- 歩道を整備することにより、歩行者等の安心・安全な交通環境を確保します。
- 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



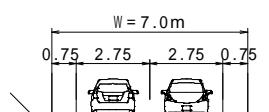
2-7 60 県道橋東和線(地家室)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	バイパス
延 長	L = 0.7 km
幅 員	W = 7.0 m
着 手 年 度	平成27年度

[標準断面図]



総事業費約12億円

R3
完成



整備前



目的(効果)

- 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- 国道437号へのアクセス性が向上します。
- 地域住民の利便性向上及び産業の振興を図ります。

2-6 23 県道光上関線(室津)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	バイパス
延 長	L = 0.6 km
幅 員	W = 9.75 m
着 手 年 度	平成27年度

[標準断面図]



総事業費約11億円



目的(効果)

- 急なカーブで見通しが悪い箇所を解消します。
- 緊急輸送道路として災害時等にも機能する信頼性の高い道路ネットワークを構築します。



2-8 72 県道柳井上関線(伊保庄)

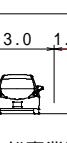
支える 守る 備える つなぐ

概要

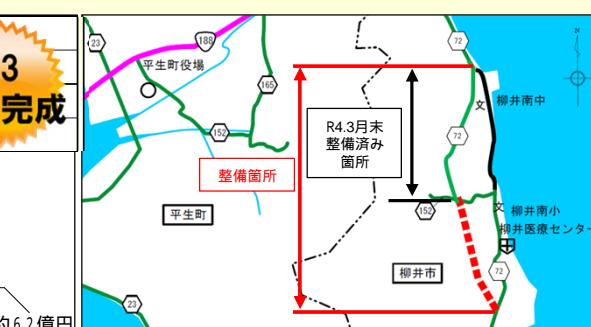
内 容	バイパス
延 長	L = 4.5 km
幅 員	W = 11.0 m
着 手 年 度	平成13年度

R3
部分完成

[標準断面図]



総事業費約62億円



目的(効果)

- 道路幅員が狭く車両のすれ違いが困難な箇所を解消します。
- 柳井市街地と室津半島地域との交流促進や連携強化を図ります。
- 国立病院機構柳井医療センターへのアクセス性を向上します。



部分完成区間

2 主な整備箇所(地域版)

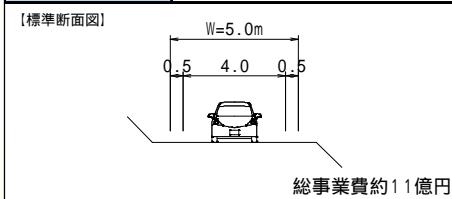
2 柳井地域の主要な整備箇所

2-9 155 県道東浦西浦線(黒鼻～赤崎)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	現道拡幅
延 長	$L = 1.0 \text{ km}$
幅 員	$W = 5.0 \text{ m}$
着 手 年 度	平成23年度



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 島の東西の連携を強化します。

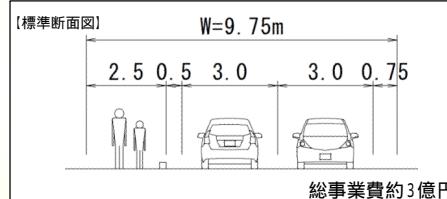


2-11 22 県道光柳井線(麻郷奥松本)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	歩道整備
延 長	$L = 0.6 \text{ km}$
幅 員	$W = 9.75 \text{ m}$
着 手 年 度	令和元年度



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 車道の拡幅及び線形改良により安全で円滑な交通を確保します。

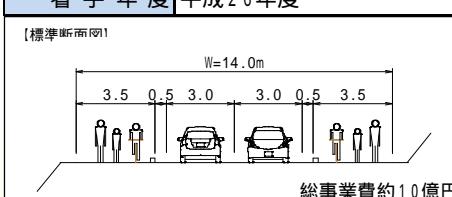


2-10 4 県道大島環状線(小松)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	自歩道整備
延 長	$L = 1.3 \text{ km}$
幅 員	$W = 14.0 \text{ m}$
着 手 年 度	平成26年度



目的(効果)

- ◆ 自転車歩行者道を整備することにより、歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。

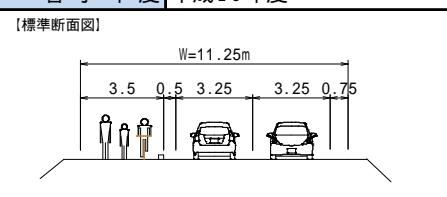


2-12 22 県道光柳井線(波野～余田)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	自歩道整備
延 長	$L = 0.45 \text{ km}$
幅 員	$W = 11.25 \text{ m}$
着 手 年 度	平成25年度



目的(効果)

- ◆ 自転車歩行者道を整備することにより、歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。



2 主な整備箇所(地域版)

2 柳井地域の主要な整備箇所

2-13 163 県道別府田布施停車場線(下田布施)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	自歩道整備
延 長	$L = 0.7\text{ km}$
幅 員	$W = 10.75\text{ m}$
着 手 年 度	平成26年度
【標準断面図】	
	
総事業費約4億円	

R5
完成



目的(効果)

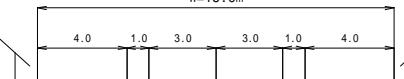
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 車道を拡幅し、安全で円滑な交通を確保します。

2-15 都計道八和田定井手線(波野～下田布施)

22 県道光柳井線

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	自歩道整備
延 長	$L = 0.5\text{ km}$
幅 員	$W = 16.0\text{ m}$
着 手 年 度	平成25年度
【標準断面図】	
	

R3
完成



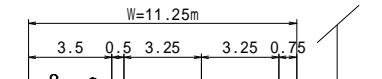
目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。

2-14 164 県道平生港田布施線(麻郷)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	自歩道整備
延 長	$L = 1.0\text{ km}$
幅 員	$W = 11.25\text{ m}$
着 手 年 度	平成25年度
【標準断面図】	
	
総事業費約9億円	

R5
完成



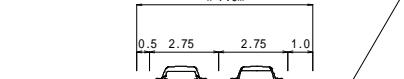
目的(効果)

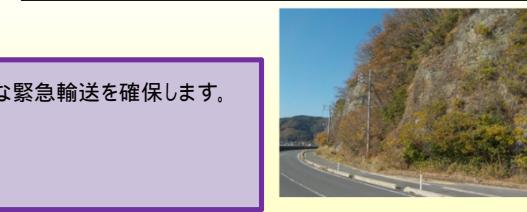
- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 線形を改良し、安全で円滑な交通を確保します。

2-16 4 県道大島環状線(小松開作～西安下庄)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	のり対面策
延 長	$L = 0.4\text{ km}$
幅 員	$W = 7.0\text{ m}$
着 手 年 度	平成25年度
【標準断面図】	
	
総事業費約1億円	



目的(効果)

- ◆ 道路利用者の安全な通行や災害時の円滑な緊急輸送を確保します。

2 主な整備箇所(地域版)

2 柳井地域の主要な整備箇所

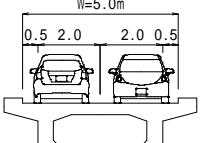
2-17 362号県道白木漁港佐連線(沖家室大橋)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	耐震化
延 長	$L = 0.38\text{ km}$
幅 員	$W = 5.0\text{ m}$
着 手 年 度	平成29年度

[標準断面図] $W=5.0\text{m}$



総事業費約7億円



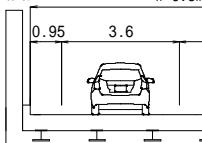
2-19 7号県道柳井周東線(瑞穂橋)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	長寿命化
延 長	$L = 0.4\text{ km}$
幅 員	$W = 9.5\text{ m}$
着 手 年 度	平成29年度

[標準断面図] $W=9.5\text{m}$



総事業費約8億円



目的(効果)

- ◆ 大地震時に落橋に至るような致命的な被害を防止するだけではなく、被災後、橋梁としての機能を速やかに回復できる性能を確保します。
- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



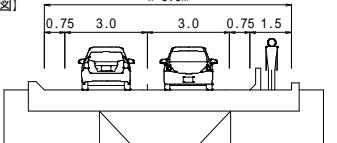
2-18 437号国道(大島大橋)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	長寿命化
延 長	$L = 1.0\text{ km}$
幅 員	$W = 9.0\text{ m}$
着 手 年 度	平成11年度

[標準断面図] $W=9.0\text{m}$



総事業費約96億円



目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



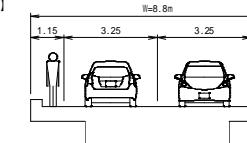
2-20 23号県道(上関大橋)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	長寿命化
延 長	$L = 0.22\text{ km}$
幅 員	$W = 8.8\text{ m}$
着 手 年 度	令和2年度

[標準断面図] $W=8.8\text{m}$



総事業費約5億円



目的(効果)

- ◆ 橋梁の機能を保持し、長寿命化を図ります。
- ◆ 維持管理費の縮減や更新費用の平準化を図ります。



2 主な整備箇所(地域版)

2 柳井地域の主要な整備箇所

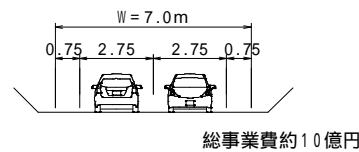
2-21 60 県道橋東和線(地家室2)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	バイパス
延 長	L = 0.5 km
幅 員	W = 7.0 m
着 手 年 度	平成30年度

[標準断面図]



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消します。
- ◆ 地域住民の利便性向上及び産業の振興を図ります。



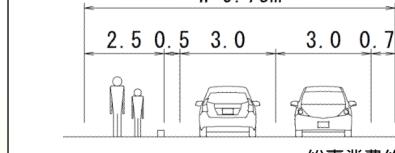
2-23 22 県道光柳井線(麻郷奥杉田)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	歩道整備
延 長	L = 0.3 km
幅 員	W = 9.75 m
着 手 年 度	令和4年度

[標準断面図]



総事業費約3億円



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者の通行の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 車道の拡幅及び線形改良により安全で円滑な交通を確保します。

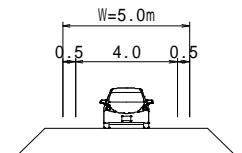
2-22 109 県道白木山線(西方)

支える 守る 備える つなぐ

概要

内 容	現道拡幅
延 長	L = 0.4 km
幅 員	W = 5.0 m
着 手 年 度	令和4年度

[標準断面図]



目的(効果)

- ◆ 車両のすれ違いが困難な箇所や見通しが悪い箇所を解消し、安全で円滑な交通を確保します。
- ◆ 地域住民の利便性向上及び産業の振興を図ります。
- ◆ 白木山山頂公園へのアクセス性が向上します。



2-24 都計道八和田定井手線(下田布施)

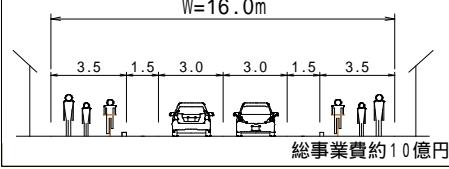
23 県道光上関線

支える 守る 備える つなぐ

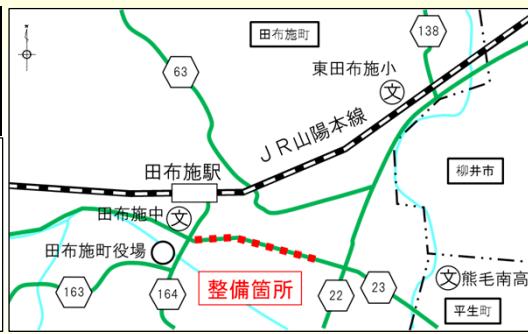
概要

内 容	自歩道整備
延 長	L = 0.8 km
幅 員	W = 16.0 m
着 手 年 度	令和4年度

[標準断面図]



総事業費約10億円



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保することにより、安全で暮らしやすいまちづくりを推進します。

2 主な整備箇所(地域版)

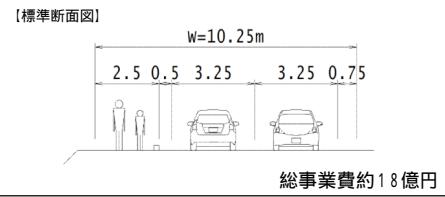
2 柳井地域の主要な整備箇所

2-25 国道437号(宗光)

支える	守る	備える	つなぐ

概要

内 容	歩道整備
延 長	$L = 1.2 \text{ km}$
幅 員	$W = 10.25 \text{ m}$
着 手 年 度	令和6年度



目的(効果)

- ◆ 歩道を整備することにより、歩行者等の安心・安全な交通環境を確保します。



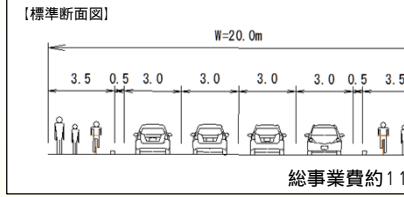
2-27 県道柳井玖珂線(北町)

支える	守る	備える	つなぐ

概要

内 容	交差点改良
延 長	$L = 0.4 \text{ km}$
幅 員	$W = 20.0 \text{ m}$
着 手 年 度	令和7年度

R7
新規



目的(効果)

- ◆ 通学路における児童・生徒をはじめとする歩行者及び自転車の通行の安心・安全な交通環境を確保します。
- ◆ 交差点改良により、円滑な交通を確保します。

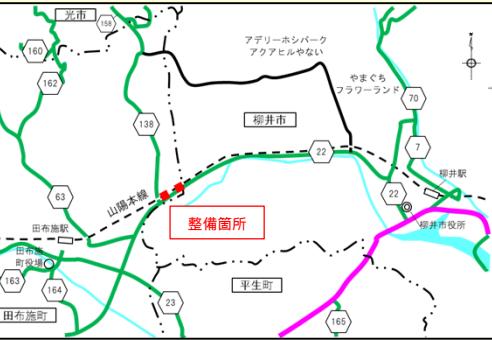
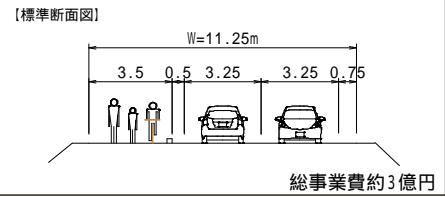


2-26 県道光柳井線(波野)

支える	守る	備える	つなぐ

概要

内 容	自歩道整備
延 長	$L = 0.1 \text{ km}$
幅 員	$W = 11.25 \text{ m}$
着 手 年 度	令和6年度



目的(効果)

- ◆ 自転車歩行者道を整備することにより、歩行者及び自転車の安心・安全な交通環境を確保します。

